

# SALON

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール情報誌  
Vol.160 2026年 4月号

## THE PHOENIX HALL

### CONTENTS

- 01 Prime Interview
- 03 Phoenix Presents
- 07 Essay

### 中川優芽花

Osaka Guitar Summer 2026

トリオ・エクス×ブラームス ～3つの第2番、円熟の響き～

ロックとの出会い、そしてクラシックギターで描くロックの世界 猪居亜美



## 中川優芽花

全世界が魅了された才能！  
中川優芽花が初めてザ・フェニックスホールに登場

Yumeka Nakagawa



©Susanne Diesner

クララ・ハスキル国際ピアノコンクール、ロベルト・シューマン国際コンクールでの優勝をはじめ、着実にキャリアを重ね注目を集めているピアニストの中川優芽花。デュッセルドルフで生まれ、ロベルト・シューマン音楽大学のジュニアコース、ロンドンのパーセル音楽院を経て、2021年からはワイマールのフランツ・リスト音楽大学で研鑽を積んでいる。2025年10月は第19回ショパン国際ピアノコンクールに出場。聴衆の心を深く打つ演奏により、さらに多くのファンを増やした。さらに同年には「岩谷時子 Foundation for Youth」を受賞し、待望のデビューアルバム『中川優芽花 デビュー！』もリリース。タワーレコードで行われたリリース記念イベントには多くの聴衆が押し寄せ話題となった。そんな彼女がついにザ・フェニックスホールに登場。いま最も中川の演奏で聴きたい作品が次々と披露されるプログラムだ。

(長井進之介/ピアニスト・音楽ライター)

ザ・フェニックスホールでの演奏は初めてとお聞きしました。

以前からホールの写真などを拝見していて、とても美しい場所だなと思っていました。今回演奏させていただけることがとても楽しみです。

今回のリサイタルではロマン派を代表する、そして同時期を生きた作曲家であるショパンとシューマンの作品を演奏してくださいませね。

ショパンについては、ありがたいことにショパン国際ピアノコンクールの反響がとても大きく、ショパンを聴きたいというお客様も多いと思い選びました。シューマンはこれまでずっと演奏してきた、私にとって大事な作曲家です。今回はぜひこの二人を組み合わせたいと思いました。

ショパン国際ピアノコンクールは全世界にライブ配信されており、それを視聴した多くの人々が中川さんの演奏に魅了されていました。私もその一人です。中川さんの演奏は作品からさまざまな表情や色彩、景色を見せてくれるものがありました。

ショパンは実はこれまで演奏会で取り上げる機会はありませんでした。ポーランド人の先生に習っていたこともあり、そのときはよくレッスンを受けたりはしていたのですが、どちらかといえば苦手意識がある作曲家でした。聴くのは大好きなのですが、いざ自分で弾こうとすると彼の音楽の本質をとらえて音として聴き手の皆様に届けるのが本当に難しく…。もちろん技術そのものが大変というのもありますし、すべての音を響かせながら最良のバランスで届けるということにも苦労していました。ただ、やはりコンクールを通してたくさん曲を演奏するようになり、以前よりも曲の理解度も少しずつ上がってきているのを感じています。昔よりは苦手意識は薄れてきましたね。

以前と比べてとくに自分の中で大きくショパンについての苦手意識が変わった部分などはありますか？

時期によっても違いますね。私は練習のなかで、だいたい“今はこれが自分の課題だ！”というようにテーマをきめて、それを2〜3か月くらいで克服する、というようなことを課しています。それができるようになってまた身体になじませていかなければなりませんし、

中川優芽花(なかがわ・ゆめか/ピアノ) ドイツに生まれ育った日本人ピアニスト。2021年、クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、および聴衆賞ほかもあわせて受賞。2019年以降ロンドンのウィグモア・ホール、デュッセルドルフのトーンハレ、ワイマールハレ、マリンスキー国際ピアノ・フェスティバルなどで演奏。クリスティアン・ツァハリアス指揮ホーフ交響楽団、ボルト・カーザ・ダムジカ管弦楽団などと共演しているほか、ウィーン・コンツェルトハウス、リンツ・ブルックナーハウスでも演奏している。2025年6月にはハンブルクのマルタ・アルゲリッチ音楽祭に出演。2001年デュッセルドルフに生まれる。ロベルト・シューマン音楽大学にてパーバラ・シュツェバンスカのもと音楽の教育を受け始め、ロンドンのパーセル音楽院でウィリアム・フォンに学ぶ。2021年よりワイマールのフランツ・リスト音楽大学においてグリゴリー・グルズマン教授に師事している。2022年3月、クララ・ハスキル国際優勝後初の来日リサイタルは大絶賛を浴び、以後大阪フィル、名古屋フィル、神奈川フィル、読響、兵庫芸術文化センター管、大阪響、都響、アンサンブル金沢といった国内の主要なオケと共演を重ね、行く先々で絶賛されている。

また新しい課題も出てくるのですが…。最近では別の機会でもショパンのピアノ協奏曲を演奏する機会があったのですが、オーケストラと演奏していると、ピアノを打楽器的に弾いてしまっていることに気がつきました。改めて、もっと深い呼吸で、密度の高い音を出し、弦楽器のように歌えることを目指したいと思いました。ただ、あまり考えすぎるとかえってうまくいかなくて…。もっとシンプルに、ヴァイオリンを弾いている自分をイメージして腕や手首を使ってみると意外とそれに近づけることに気が付いたのです。

ショパンは今回「幻想ポロネーズ」やピアノソナタ 第3番といった後期の重い作品を選びましたね。

基本的に重く複雑な内容のものが好きなのです。それをどのように紐解いて、曲の持っている素晴らしさをお客様にどれだけわかりやすくお伝えできるか、ということを考えるのがとても楽しいですね。特にショパンの場合、後期になればなるほど彼の人生が垣間見えるものになっています。曲を通してショパンと対話できるような感覚があります。

「幻想ポロネーズ」は後期ということもありますし、「ポロネーズ」というショパンにとって故郷を思うとても大切な楽曲ジャンルということもあり余計に難しさが増しますよね。

踊りや民謡など伝統的に国で受け継がれているものは、その国の方たちからすれば血や肉となっているものであり、当たり前の中に息づいているものですね。ですから論理的に理解しようとしても本質を得ることはできないと思います。だからこそ外国人である私はたくさん踊りを見て、経験して、そして色々な演奏を聴いて自分の中に落とし込んでいくしかありません。そのなかで自分なりの答えを探し出そうと常に努力しています。

ピアノソナタ 第3番も後期のショパンを代表する大作です。

楽章同士が対照的な性格なので、それらの特徴をどうとらえて表現するかにかかっています。とくに第1楽章は複雑で、バッハを思わせる対位法も使用され、曲想も次々に変化していきます。これをまとめあげて皆様にお届けするのは大変な作業ですが、とても楽しいです。

シューマンは先日リリースされたCDにも「子

供の情景」が入っていますし、改めて中川さんにとってなくてはならない作曲家ですよね。今回は「アベック変奏曲」と「幻想小曲集」を披露してくださいませ。

《幻想小曲集》は以前からよく弾いている曲で、個人的に大好きな曲集でもあります。ただ、同時にこれまで弾いたあらゆる曲の中でも特に難しいといっても過言ではありません。はじめて弾くようになってから1年ごとに練習して熟成させて演奏会で弾く、ということを繰り返しています。本当に細かな音楽の仕掛けがあり、それをすべて表現できれば音楽がより魅力的なものになるのですが、自分が思っているようなものができるようになるまで、少なくともあと10年はかかると思います。特に第6番の〈寓話〉や第2番〈飛翔〉が好きなのですが、リズムやポリフォニーの要素やそのバランスなど細かいニュアンスの変化に富んでいるので、それを表現するのがとても難しいですね。だからこそどんどん磨き上げていきたいですし、いまの私のこの《幻想》をみなさまにお聴きいただけたら嬉しいです。《アベック変奏曲》は新しいレパートリーです。シューマン音楽大学のジュニアコースに通っていた時に大親友がずっと弾いていて、いつか弾いてみたいと思っていた思い出の曲です。今回、プログラムが感情的にかなり重くなる作品が多いこともあり、こういった少し軽やかなものも入れて、自然とショパンのソナタに向かっていければというところで入れてみました。

今回のプログラムは、中川の進化し続けるピアノリズムと音楽性を存分に楽しむことができる、極上の時間となりそうだ。



©Susanne Diesner

## 公演詳細

ティータムコンサートシリーズ183 中川優芽花 ピアノリサイタル

2026年6月16日(火)14:00開演 指定席 お菓子つき

■出演 中川優芽花(ピアノ)

■曲目 ショパン:幻想ポロネーズ 変長調 op. 61

シューマン:幻想小曲集 op. 12

シューマン:アベック変奏曲 へ長調 op. 1

ショパン:ピアノソナタ 第3番 短調 op. 58

\*前売券は予定枚数に達したため販売を終了いたしました。追加販売、当日券の有無については未定です。詳細が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

<お問い合わせ>

ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999(平日10:00~17:00、土日祝休)

友の会先行予約 2026 4/18土 10:00~  
 一般発売 2026 4/24金 10:00~  
\*各発売日初日は電話予約のみ。土曜日は特別営業。  
 \*インターネット予約、ご来店によるお申込みは4月27日(月)10:00から!

# Osaka Guitar Summer 2026

## 祝15回、ギタリストたちにより華やかに開宴!



ザ・フェニックスホールがお届けする真夏のギター祭典・福田進一プロデュース「大阪ギターサマー」。今年は記念すべき15回目を迎えます。今回は、クラシックギター界を牽引するギタリスト福田進一さんと荘村清志さんをメインに据え、若きギタリストの「公開マスタークラス」や関西在住ギタリスト指導による愛好者の「ギターアンサンブル」演奏を披露します。加えて、「公開マスタークラス」受講経験があり、活躍が目覚ましい若手ギタリスト・猪居亜美さんと徳永真一郎さん、上野芽実さんをゲストに迎え、華やかに開催します。クラシックギターの魅力を余すことなくお届けする2日間、是非、ご来場ください。

### 2026 8/29土 公開マスタークラス 聴講&修了コンサート

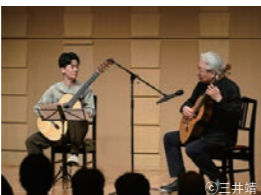
自由席 1日通し券 ¥1,500(友の会会員¥1,350)

※1枚のチケットで「公開マスタークラス聴講」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。なお、公開マスタークラス終了後の入れ替えはありません。

公開マスタークラス 13:00開始 自由席

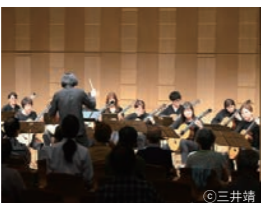
プロを目指す若きギタリストのレッスンを聴講いただけます。

- ①13:00~14:00  
講師 福田進一  
受講生 坂上颯亮
- ②14:15~15:15  
講師 荘村清志  
受講生 小林玄司



修了コンサート 16:00開演 自由席 (18:00終演予定)

公開マスタークラス受講生とアンサンブルワークショップ受講生が、レッスンの成果を披露します。課題曲の世界初演、ワークショップ講師の演奏、過去にマスタークラスを受講された上野芽実さんのゲスト演奏など聴き所が満載です。



- 出演  
アンサンブルワークショップ受講生  
公開マスタークラス受講生  
岩崎慎一、井谷光明(ワークショップ講師)  
特別ゲスト:上野芽実(2011年公開マスタークラス受講生)



- プログラム
- 1. アンサンブルワークショップ受講生演奏  
課題曲 藤村亘:組曲「想奏」~ギター四重奏のための  
\*世界初演  
(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2026年度委嘱作品)
- 2. 公開マスタークラス受講生演奏
- 3. アンサンブルワークショップ講師演奏
- 4. 特別ゲスト演奏 「上野芽実 ギターリサイタル」  
曲目 J.K.メルツ:吟遊詩人の調べ op.13 より  
F.シューベルト(J.K.メルツ編):  
ギターのための6つのシューベルト歌曲  
協賛 現代ギター社 協力 大阪音楽大学

### 2026 8/30日 <福田進一と仲間たち vol.15> 福田進一&荘村清志 ジョイントリサイタル

15:00開演 指定席 一般 ¥5,000(友の会会員¥4,500)  
 学生(25歳以下) ¥1,500

盟友お2人によるメインコンサート。ソロはもちろん、東京・Hakujuホールと共同委嘱したデュオ作品は必聴。若手ギタリストとともに4重奏も披露いたします。



- 出演 福田進一、荘村清志  
アンサンブルゲスト:猪居亜美、徳永真一郎

- 曲目
- 第1部:ソロ/福田進一  
J.S.バッハ(福田進一編):シャコンヌ  
A.ジョリヴェ:前奏曲風に ほか
- 第2部:ソロ/荘村清志  
賢王アルフォンソ X世(芳志戸幹雄編):聖母マリア頌歌集  
M.C=テデスコ:  
プラテローロと私 op.190 より~プラテローロ~春~メランコリー  
J.イルマル:バーデン・ジャズ組曲
- 第3部:アンサンブル  
大坪純平:アウムーリの祝宴(福田・荘村) \*関西初演  
(第20回Hakujuギター・フェスタ2026(Hakuju Hall)/あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2026年度共同委嘱作品)  
林そよか:4つの海の物語(福田・荘村・猪居・徳永) ほか  
(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2019年度委嘱作品)

2026 7/29水

### フェニックス・エヴォリューション・シリーズ114 トリオ・エクス × ブラームス ~3つの第2番、円熟の響き~

19:00開演 自由席

一般前売 4,000円(友の会会員3,600円) 一般当日 4,500円 \*友の会割引は前売のみ  
 学生(30歳以下) 前売 2,500円 学生(30歳以下) 当日 3,000円



ベルリン発、トリオ・エクスの真骨頂 “ブラームス” で聴かせる傑作の3曲 円熟の天才が込めた想いを語る

- 出演  
リード希亜奈(ピアノ)、友滝真由(ヴァイオリン)、藤原秀章(チェロ)
- 曲目  
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第2番 イ長調 op.100  
ブラームス:チェロソナタ 第2番 ヘ長調 op.99  
ブラームス:ピアノ三重奏曲 第2番 ハ長調 op.87

今公演では、ブラームスの《第2番》に焦点を当て、ヴァイオリンソナタ 第2番、チェロソナタ 第2番、ピアノ三重奏曲 第2番という円熟期の名作を一夜でお届けします。柔らかな歌心と力強さを併せ持つこれらの室内楽作品を通じて、ブラームスが到達した深い精神性と音楽の豊かさを描き出すコンサートにしたいと考えています。ヴァイオリンとチェロ、そしてピアノが織りなす三つの“第2番”が響き合うことで、彼の音楽がもつ多彩な表情と、深く心に染み渡る温かな人間味をトリオ・エクスならではの解釈でお楽しみいただけます。トリオ・エクスは、ベルリンと日本を拠点に活動する常設のピアノ三重奏団です。メンバーはそれぞれ国内外のコンクール受賞歴を持ち、ソリストやオーケストラ奏者としても研鑽を積んでいます。三人が室内楽の醍醐味を共有しながら紡ぐブラームスの世界を、心ゆくまで味わっていただきたいと思います。

### チケットのご予約、窓口でのご購入

ザ・フェニックスホール チケットセンター  
 (あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8階)  
**TEL 06-6363-7999**

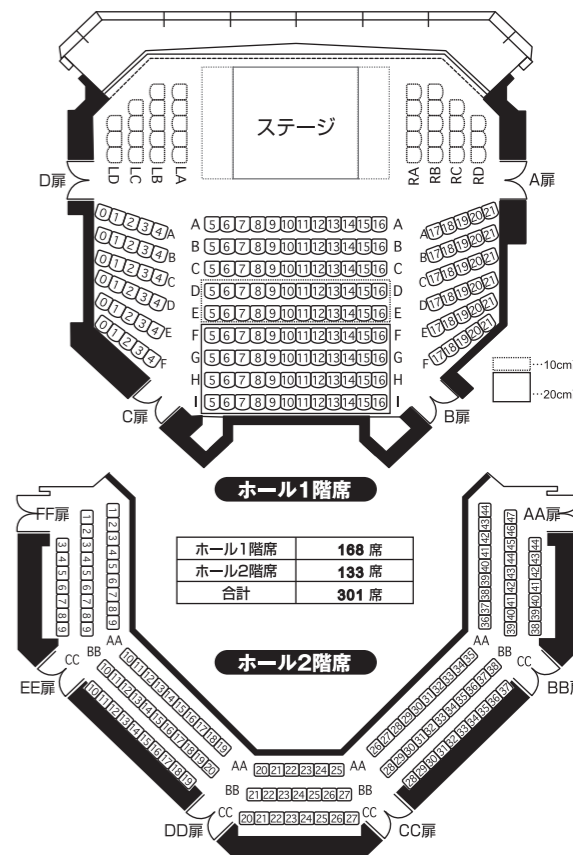
営業時間:10:00~17:00 休業日:土・日・祝日  
 \*土曜日が発売日の場合は、電話受付のみの特別営業となります。

### ご予約後の手続き

**ご来店でお引き取り**  
 10日以内にご来店ください。  
 窓口では、キャッシュレス決済にご協力をお願いいたします。

**郵便局よりお振り込み**  
 ご予約後、10日以内にお振込みください。  
 ↓  
 ご入金確認後、2週間程度でご自宅へお届け。  
**簡易書留で発送** 送料470円と振込手数料はお客様ご負担となります。

口座番号 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール





## 大阪文化祭賞、大阪文化祭奨励賞W受賞！

2025年度にザ・フェニックスホールで行った下記2公演が、令和7年度大阪文化祭賞、大阪文化祭奨励賞を受賞いたしました。受賞理由は次のとおりです。

### ■大阪文化祭賞

「曲がった家を作る人 一故郷に響く西村朗の音楽」の成果

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール、住友生命いづみホール 及び (公財)日本室内楽振興財団

**受賞理由** 本公演は令和5(2023)年に逝去した大阪出身の作曲家、西村朗の作品を没後初めて特集したシリーズ公演である。7月6日「弦楽四重奏」、10日「パーカッション・アンサンブル」、12日「室内オーケストラ」の3公演と、6月4日には西村と親交のあった作曲家、池辺晋一郎を迎えたトークイベント「西村朗を語る」が行われた。国内第一級の演奏陣による3公演はそれぞれが高い完成度であり、西村の作品が時代を超えて継承されてゆくであろうことを示す記念碑的な内容となった。これらが大阪のクラシックを代表する3団体の、初の合同企画として行われたことも評価すべきだろう。西村は昭和50(1970)年代以降の日本を代表する作曲家の1人であり、住友生命いづみホールのレジデントオーケストラ、いづみシンフォニエッタ大阪の音楽監督としても活躍した。その業績を伝える公演が、故郷大阪で全国に先駆けて行われたことの意義もまた大きいと思われる。本公演の成果を称え大阪文化祭賞を贈る。



### ■大阪文化祭奨励賞

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ112

アカデュオ リサイタル〜ポーランドの名作曲家たち〜

<8月6日(水)> Aka Duo

**受賞理由** コンクールでの活躍を糧とした、デュオの核というべきポーランド音楽を、多彩な表現力で披露した。強靱でスケールの大きい松岡、自在さと包容力のある木口。対話をするようなデュオの緻密なアンサンブルは、常設ならではのもので、清新な音楽が聴衆を魅了した。個々の活躍も目覚ましく、切磋琢磨による更なる活動の進化が期待される。



## フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 2027年度公演企画募集／ホール無料提供 あなたの公演プランを舞台上で実現してみませんか？

「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」はあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールが行っている共催公演事業です。文化芸術の創造的な発展に寄与するユニークかつ意欲的な公演企画を募集しています。審査で選ばれた企画はホール共催公演として、ザ・フェニックスホールが全面的にサポートいたします。あなたの公演プランを大阪・梅田のザ・フェニックスホールで実現してみませんか？

ホール提供日	2027 5/15土	7/6火	10/5火	2028 1/19水
締切	2026年5月29日(金) 必着			

お問い合わせ  
募集要項の請求

募集要項、応募用紙は、ホームページよりダウンロードいただけます。  
〒530-0047大阪市北区西天満4-15-10-8F あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」係  
TEL 06-6363-0211(平日9:00~17:00) E-mail concert@phoenixhall.jp



▲詳しくはこちら

## あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内

公演により割引枚数などに制限があります。ご購入時にお問合わせください。

<p><b>協力公演</b></p> <p>NPO 法人関西音楽人クラブ ～始まりは恐怖だった～ 秘められた怖さを知れば暑さも吹っ飛び 「納涼コンサート」Vol.5</p> <p>2026年7月20日(月・祝)15:00開演 自由席 <b>調整中</b> 前売¥3,500(友の会会員¥3,000) 当日¥4,000(友の会会員¥3,500)</p> <p>小川友子(プロデュース・ピアノ) 前田尚代、杉原真理子(ソプラノ)、大島弥州夫(オーボエ)、前田峰子&amp;田村映子(ピアノ連弾)、宮田晴奈(ヴァイオリン)、橋本桂子(箏)、道場 雅、松村美知子、山田真由美(ピアノ)</p>	<p><b>サマーミュージックフェスティバル 大阪2026</b></p> <p>2026年8月1日(土)17:00開演 自由席 <b>調整中</b> 一般¥4,500(友の会会員¥4,000) 学生(高校生以下)¥2,000</p> <p>小味洸彦之(構成・監修)、平橋佳代子(案内役) 栗林萌華、三木康子、井手智佳子、福井奈津音、木下たまま、松村敬子(ピアノ)、青山優子(フルート)、新暁子(クラリネット)、坂口さやか(ソプラノ)、エンキ(中国琵琶)、ギオルギ・バブアゼ、日比浩一(ヴァイオリン)、大町剛、日野俊介(チェロ)</p>
--	--



詳細は公演チラシかホールホームページでご確認ください。

### 協賛公演

#### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ブラームス：2つの弦楽六重奏曲 レ・ミュージシャン de Kyoto

2026年5月31日(日)14:30開演 指定席 **発売中**  
¥6,000(友の会会員¥5,400)  
田村安祐美、塩原志麻(ヴァイオリン)、小峰航一、丸山緑(ヴィオラ)、ドナルド・リッチャー、一樂恒(チェロ)



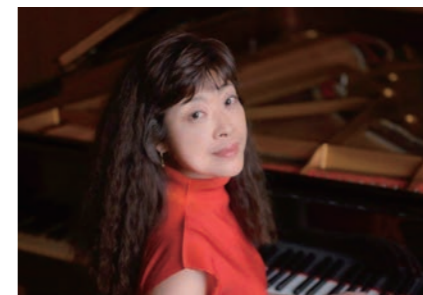
#### 関朋岳(vn) 佐川和冴(pf) デュオ・リサイタル

2026年6月20日(土)14:00開演 指定席 **調整中**  
¥5,000(友の会会員¥4,500)  
関朋岳(ヴァイオリン)、佐川和冴(ピアノ)



#### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” 憧憬 ～天才たちを讃えて～ ピアノ：三輪 郁

2026年6月8日(月)19:00開演 指定席 **発売中**  
¥5,000(友の会会員¥4,500)  
三輪郁(ピアノ)



#### 田中正也ピアノリサイタル ～ラ・カンパネラ～【大阪公演】

2026年6月21日(日)13:30開演 指定席 **発売中**  
¥4,000(友の会会員¥3,600)  
田中正也(ピアノ)



#### 第17回 ICEP カンボジア/日本 活動報告コンサート2026

2026年6月13日(土)14:00開演 指定席 **発売中**  
¥6,500(友の会会員¥5,850)  
五嶋みどり、ヘリム・オ(ヴァイオリン)、アンディ・バク(ヴィオラ)、アネット・ヤコヴツッチ(チェロ)



#### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” 相愛ソノリスツ 2026

2026年6月24日(水)19:00開演 指定席 **発売中**  
¥6,500(友の会会員¥5,800)  
大谷玲子、田辺良子(ヴァイオリン)、花井結(ヴィオラ)、  
伝田正則(チェロ)、林俊武(コントラバス)、稲垣聡(ピアノ)



#### 藤原道山 尺八コンサート

2026年7月4日(土)14:00開演 指定席 **発売中**  
前売¥6,000(友の会会員¥5,500)  
当日¥6,500(友の会会員¥6,000)  
藤原道山(尺八)、国府弘子(ピアノ)、ゲスト：片岡りさ(箏)



#### 多川響子ピアノリサイタル ～ベートーヴェン 五大ソナタ～

2026年7月5日(日)13:30開演 自由席 **発売中**  
一般前売¥4,000(友の会会員¥3,600)  
一般当日¥4,500(友の会会員¥4,000)  
25歳以下前売¥2,000 当日¥2,500  
多川響子(ピアノ)



#### 大萩康司 ギターリサイタル

2026年7月12日(日)14:00開演 指定席 **発売中**  
¥5,000(友の会会員¥4,500)  
大萩康司(ギター)



#### “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” バリ祭に寄せて Bastille day at The Phoenix Hall, Osaka

2026年7月14日(火)19:00開演 指定席 **発売中**  
¥5,000(友の会会員¥4,500)  
小峰航一(ヴィオラ)、西岡沙樹(ピアノ)



#### 進藤実優 ピアノリサイタル

2026年9月26日(土)13:30開演 指定席 **発売中**  
¥4,500(友の会会員¥4,050)  
進藤実優(ピアノ)



#### 高松亜衣 ヴァイオリンリサイタル「Tint」

2026年10月4日(日)14:00開演 指定席 **発売中**  
特典付き(前方席)¥10,000(友の会会員¥9,000)  
一般¥5,000(友の会会員¥4,500) 学生¥4,000  
高松亜衣(ヴァイオリン)、長富彩(ピアノ)



## ロックとの出会い、 そしてクラシックギターで描くロックの世界

クラシックギター教室の家系に生まれた私がロック音楽に目覚めたのは、小学校6年生の頃。BUMP OF CHICKENの「天体観測」をきっかけにバンドの世界を知ったのです。中学に入ってからは友人にX JAPANの「紅」を聴かせてもらい、ヴィジュアル系バンドの音楽にのめり込み、そしてそのうちにMUCCの「アゲハ」という曲で雷に打たれたような衝撃が走りました。日本に、こんなにもヘヴィなサウンドを美しく奏でるバンドがいたのかと。その瞬間、自分もいつかアーティストとして彼らに会い、感謝を伝えるという人生の目標が生まれたのでした。

高校時代はバンド活動に励み、エレキギターを抱えてライブハウスで高校生バンドのコンテストに挑戦し続けた高校生活。文化祭ではMUCCの音楽をひたすらに演奏していました。しかしエレキギターでは全く結果を残せない、人生最大の挫折を味わいました。

その後、大阪音楽大学に進学し、師である藤井敬吾先生、福田進一先生との出会いによって、私は人生の相棒としてクラシックギターを選びました。在学中にレーベルのプロデューサーと出会い、プロとしての活動がスタートします。

クラシック音楽家として歩み始める中でも、ロックへの愛が消えることはありませんでした。そして、クラシック音楽に影響を受け、その要素をロックやメタルの中に取り入れているミュージシャンが数多く存在することに、あらためて気づきます。LOUDNESSのギタリスト・高崎晃さんは莊村清志さんに直接クラシックギターを学ばれており、MUCCのギタリスト、ミヤさんも、もともとはクラシックギターやピアノから音楽の世界に入ったそうです。また、リッチー・ブラックモアやイングヴェイ・マルムスティーンをはじめ、多くのロックミュージシャンの音楽の中に、クラシックの精神は確かに息づいていました。さらにその一方で、現代のクラシック音楽家の作品の中には、ロックへのオマージュ作品が次々と生まれています。

クラシックとロックは対極にある音楽ではなく、互いに影響し合いながら進化してきた音楽なのだ。その気づきは、私の中で長く分断されていた二つの世界を、ひとつへと結びつけました。エレキギターに挫折した私が、クラシックギターでロックを弾いてみたら面白いんじゃないか？というアイデアは、マネージャーの言葉から生まれました。こうして2022年、ザ・フェニックスホールにて、コンサートシリーズ「CLASSIC×ROCK」がスタートしたのです。

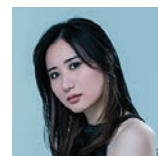
ロック楽曲はすべて自ら編曲し、クラシック作品もさらに音楽性を深めていく。試行錯誤の中で始まったこのシリーズから、IRON MAIDENやGuns N' Roses、そして私が愛するLOUDNESS、MUCCの名曲からクラシックギターアレンジが生まれ、多くのお客様に愛されるレパートリーとなっていきました。

そんな中、思いもよらない出来事が起こります。私のカヴァー演奏を聴いたLOUDNESSの高崎晃さん、そしてMUCCのミヤさんご本人が、声をかけてくださったのです。2025年にはお二人との対談が実現し、長年その音楽に救われてきたこと、そして感謝の想いを直接お伝えすることができました。エレキギターで挫折し、クラシックギターを相棒に選んだからこそ、憧れのロックレジェンドに出会うことができました。人生とは、何が起こるかかわからないものだと実感しています。

そして、これからさらにこの「CLASSIC×ROCK」を進化させていきたい、というところで今回初のゲストとしてヴァイオリニストの宮本笑里さんをお招きし、公演が決定しました。クラシックだけでなく幅広い音楽性と表現力で活躍し続ける笑里さんと共演したい、ということもまた私の長年抱いてきた夢の一つでした。ヴィヴァルディの世界、そして女性ボーカル楽曲をヴァイオリンとギターのデュオでお届けします。

ジャンルの境界を越え、音楽の持つ本質的な力を届けること。その挑戦は、これからも続いています。

essay



猪居亜美(いのい・あみ) ギタリスト

多数の学生・ジュニアコンクールで優勝、2019年にメジャーデビュー。2022年には、世界最高峰とされる第39回GFA国際ギターコンクールにおいて、日本人として35年ぶりにファイナリストに選出され、第4位に入賞。クラシックギターによるロックカバーに取り組みコンサートシリーズ「CLASSIC×ROCK」を2022年より展開。2025年11月には初の著書『クラシック・ギター1本で描く、ロックの世界』をリットーミュージックより発売。カバーを行ってきたLOUDNESSの高崎晃氏、MUCCのミヤ氏との対談が雑誌およびWEB記事として掲載され、ロックシーンでも注目を集め、その表現はアーティスト本人からも高く評価されている。

### 公演情報

**猪居亜美&宮本笑里 Twin Roses**  
2026年7月18日(土)15:00開演 指定席  
一般¥5,000(友の会会員¥4,500)  
学生(25歳以下)¥1,500 好評発売中!

